

## こたえ 夏の大三角

基礎③

## 夏の大三角

夏の夜、空を見上げると、東の高いところに、明るい星が三つ、大きな三角形をつくっているのが見つかります。これを、夏の大三角といいます。

三つの星のうち、いちばん明るい白い星が、こと座のベガです。日本では、七夕のおりひめ星として知られています。

ベガから少しはなれたところにあるのが、わし座のアルタイルです。こちらは、ひこ星として知られています。

もう一つの星は、はくちょう座のデネブです。はくちょう座は、大きな鳥がつばさを広げて飛んでいるような形をしています。

夜空の暗い場所で見ると、ベガとアルタイルの間に、天の川がうっすらと流れているのが見えます。七夕の話では、おりひめとひこ星は、この天の川をはさんで、年に一度だけ会えるとされています。

夏の大三角は、空が暗くなる夜八時ごろから、東の空の高いところで見つけやすくなります。明るい町の中でも、ベガとアルタイルは見つけやすい星です。

1

三つの明るい星がつくる三角形を、何といいますか。

夏の大三角

2

七夕のおりひめ星として知られているのは、どの星ですか。

ア

ベガ

イ アルタイル

ウ デネブ

3

デネブは、何ぎの星ですか。

はくちょう座

座

4

ベガとアルタイルの間に流れているのは、何ですか。

ア

天の川

イ 流れ星

ウ 雲

## おうちの方へ

- 夏の夜に、実際の星空で三つの星をさがしてみましょう。都会でもベガとアルタイルは見つけやすい星です。